

各 位

会 社 名 株式会社リプロセル
 代 表 者 名 代表取締役社長 横山 周史
 (コード番号：4978、東証グロース市場)
 問 合 せ 先 CFO 兼 経営管理部 GM 宗村 敏
 (TEL. 045-475-3887)

2023年3月期通期個別業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想を開示しておりませんが、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）通期個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期（通期）個別業績と前期業績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前期（2022年3月期） 実績（A）	1,284	△470	△381	△541	△7.13
当期（2023年3月期） 実績（B）	1,550	△337	△111	△296	△3.52
増減額（B－A）	266	133	270	244	－
増減率（％）	20.7	－	－	－	－

2. 前期実績値との差異の理由

売上高：研究支援事業が好調に推移し、売上高の増加を大きく牽引しました。また、新型コロナウイルスPCR検査事業についても堅調に推移し、結果として当期実績が前期実績を大幅に上回りました。

営業利益及び経常利益：再生医療製品ステムカイマルの国内第II相臨床試験が2022年5月に完了し、データ解析・評価のフェーズに移行したことに伴い、当期は前期に比べ研究開発費用が減少しました。さらに、前述のように、売上高が前期実績を大幅に上回ったことに伴い、事業収益も増加しました。その結果、営業損失および経常損失ともに、前期に比べ損失幅が縮小しました。

当期純利益：2023年5月10日付「棚卸資産評価損(売上原価)、営業外収益、営業外費用、特別損失の計上及び2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で開示したとおり、減損損失131百万円、投資有価証券評価損52百万円が発生しましたが、増収及びステムカイマル治験費用の減少により、当期純損失は、前期に比べ損失幅が縮小しました。

以上の理由により、2023年3月期通期個別業績と前期実績値との間に差異が生じています。

以上